

エル ELLE (2016)

ELLE

メディア 映画**ジャンル** サスペンス ドラマ**製作国** フランス**色彩** Color**時間** 131分**初公開日** 2017/08/25**公開情報** ギャガ**映倫** PG12**【キャッチコピー】**

犯人よりも危険なのは“彼女”だった——。

【解説】

「氷の微笑」「ブラックブック」の鬼才ポール・ヴァーホーヴェン監督が「ベティ・ブルー／愛と激情の日々」の原作者フィリップ・ディジャンの同名サスペンス小説を、主演にイザベル・ユペールを迎えて映画化し、アカデミー賞主演女優賞ノミネートやゴールデングローブ賞外国語映画賞・主演女優賞受賞をはじめ数々の映画賞を賛わせた衝撃作。ある日突然、正体不明の覆面男にレイプされたヒロインが、自らの手で犯人探しをする予測不能の復讐譚を通して、モラルや常識で捉えることのできない複雑なヒロイン像が浮かび上がってくるさまをスリリングに描き出す。

新鋭ゲーム会社で敏腕女社長として辣腕を振るうミシェル。彼女はある日、ひとり暮らしをしている自宅で覆面をした男に襲われる。男が去ると、何事もなかったかのように振る舞い、訪ねてきた息子を迎える。その後、ミシェルの行動を監視していると思われる嫌がらせメールなどから、レイプ犯が彼女の身近にいると確信するミシェル。それでも幼いときのトラウマから、決して警察に頼ろうとしない彼女は、自ら犯人探しを始める。そんなミシェルの周囲には、犯人になりうる動機を持つ怪しげな人物が何人もいたのだったが…。

【クレジット】**監督** ポール・ヴァーホーヴェン Paul Verhoeven**製作** サイド・ベン・サイド Saïd Ben Saïd

ミヒエル・メルクト Michel Merkt

原作 フィリップ・ディジャン Philippe Djian

『エル ELLE』（早川書房刊）

脚本 デヴィッド・バーク David Birke**撮影** ステファーヌ・フォンテーヌ Stephane Fontaine**美術** ロラン・オット Laurent Ott**衣装** ナタリー・ラウール Nathalie Raoul**編集** ヨープ・テル・ブルフ Job ter Burg**音楽** アン・ダッドリー Anne Dudley**出演** イザベル・ユペール Isabelle Huppert ミシェル・ルブラン

ロラン・ラフィット Laurent Lafitte パトリック

アンヌ・コンシニ Anne Consigny アンナ

シャルル・ベルリング Charles Berling リシャール

ヴィルジニー・エフィラ Virginie Efira レベッカ

ジュディット・マーレ	Judith Magre	イレーヌ・ルブラン
クリスチャン・ベルケル	Christian Berkel	ロベール
ジョナ・ブロケ	Jonas Bloquet	ヴァンサン
アリス・イザーズ	Alice Isaaz	ジョジー
ヴィマーラ・ポンス	Vimala Pons	エレーヌ
アルチュール・マゼ	Arthur Mazet	
ラファエル・ラングレ	Raphaël Lenglet	
リュカ・プリゾ	Lucas Prisor	キュルト